

21

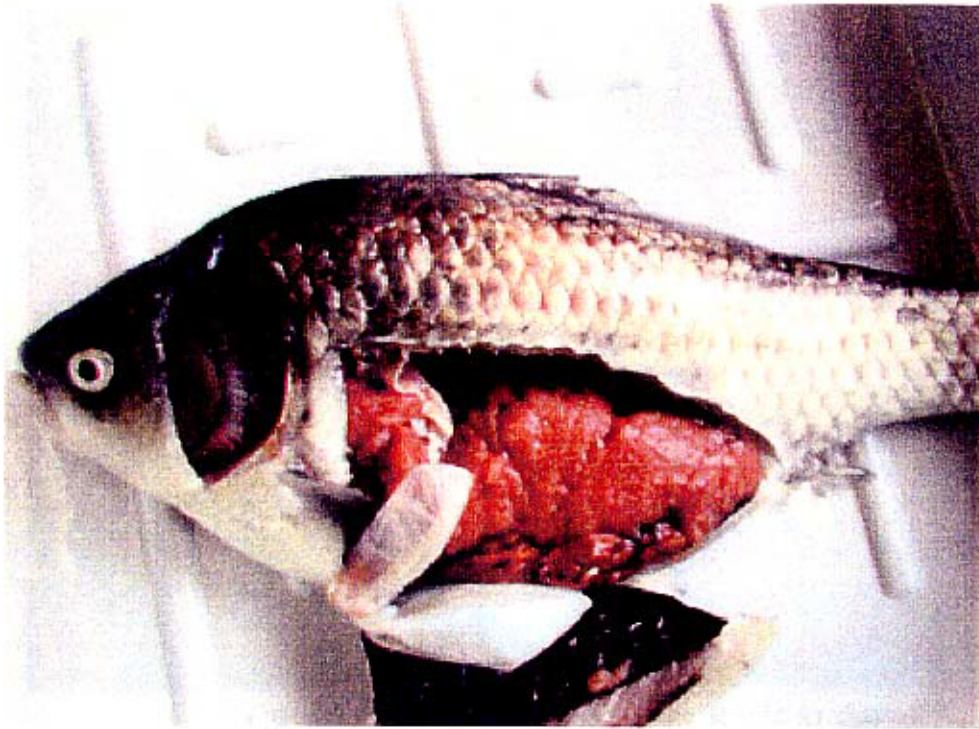
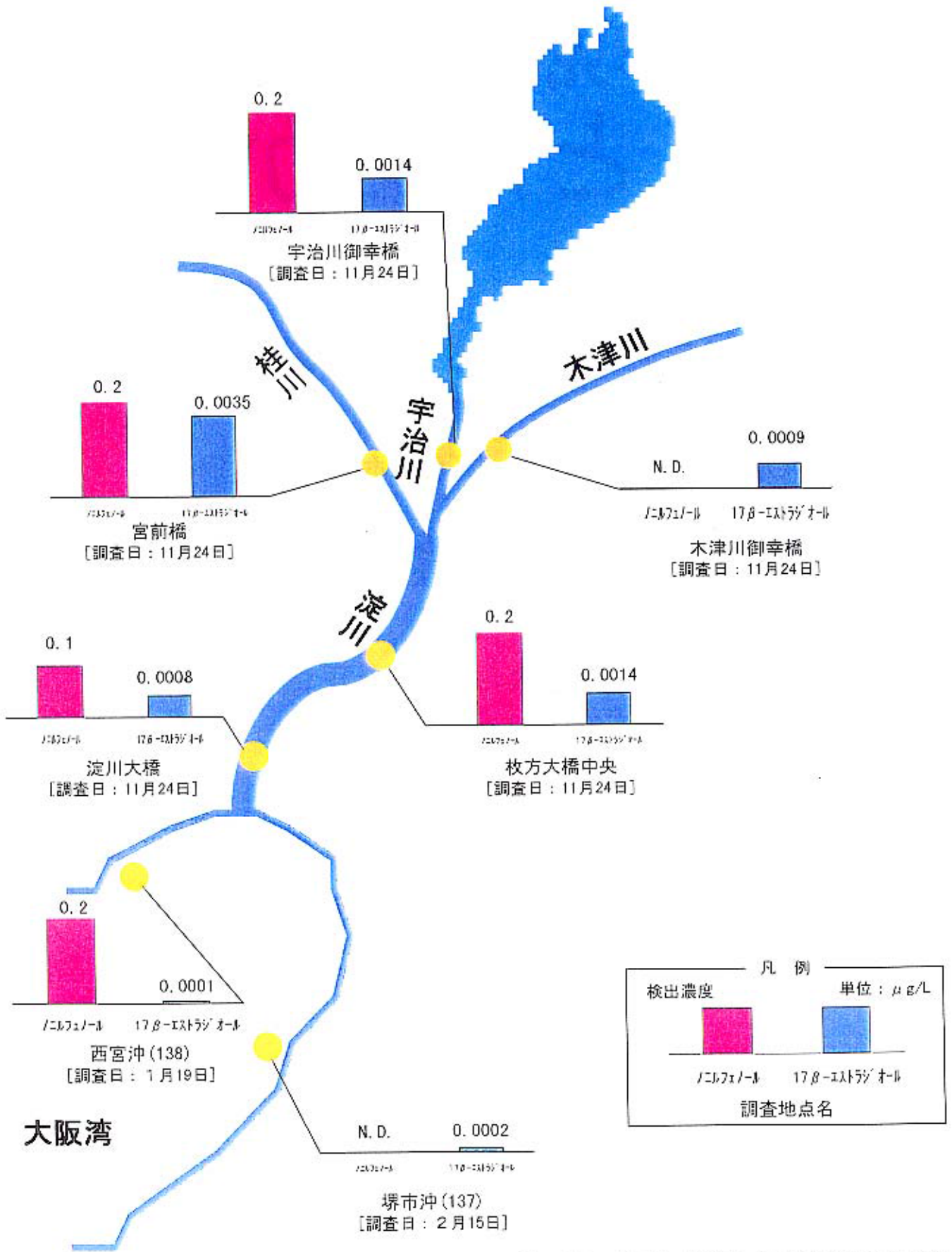


写真 23 平成 13 年 2 月 13 日に採集した衰弱魚の内部所見 3

## 環境ホルモン関連調査

# 淀川水系のノニルフェノールおよび17β-エストラジオールの調査結果



出典：(河川)国土交通省平成11年度(秋)調査結果より  
 (大阪湾)環境省平成11年度調査結果より

(参考)

# 「環境ホルモン」 とは何か

1. 生殖異常を引き起こす化学物質
  - 化学物質にどっぷり浸かった現代社会
  - 化学物質がホルモンをかく乱している？
  - 新たな地球環境問題となった「環境ホルモン」
2. 「外因性内分泌かく乱化学物質」が正式な名称
  - 「環境ホルモン」は日本で作られた造語
  - すっかり定着した「環境ホルモン」
3. 今のところ環境ホルモンの正体は不明確
  - 環境ホルモンの定義はあいまい
  - 種類は約70～150くらいか
4. 化学物質による汚染が日本でも深刻化
  - 初めてビスフェノールAが検出された！
  - 環境ホルモンとされる物質が各地で検出されている
  - 日本中でダイオキシン汚染が進んでいる

引用文献：図解「環境ホルモン」を正しく知る本

〔著者〕吉田昌史 読売新聞社科学部記者

〔監修〕井口泰泉 横浜市立大学理学部教授

淀川水系の環境ホルモンの主要な発生源と流入概念図



# ノニルフェノール検出地点



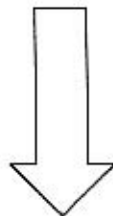
出典：環境ホルモン緊急全国一斉調査（平成10～11年度）  
国土交通省平成11年度（秋）調査

# 17-β-エストラジオール検出地点



出典：環境ホルモン緊急全国一斉調査（平成10～11年度）  
国土交通省平成11年度（秋）調査

身の回りの化学物質  
8万種



ホルモン様作用が  
疑われる化学物質67種を選定  
(平成10年5月 SPEED'98)



国土交通省実態調査  
平成10年度：13物質

環境省実態調査  
平成10年度：61物質



# トピックス

## ノニルフェノールの作用：世界で初めて確認

平成13年8月3日 環境省発表

- ノニルフェノールが一般環境中の濃度でもメダカのオスの精巣に、卵子のもとになる卵母細胞ができるとする報告書をまとめた。
  
- メダカを使った飼育試験の結果から、ノニルフェノールの魚類に対する安全濃度を $0.608 \mu\text{g}/\ell$ と算定。
  
- 平成10、11年度に実施した調査では、
  - ・環境省などが淀川水系神崎川に流れ込む味生水路（大阪府摂津市）で同 $21 \mu\text{g}/\ell$
  - ・多摩川に流れ込む宮内排水路（川崎市）で同 $12 \mu\text{g}/\ell$など、安全濃度を大きく超えている。